



スペース4よりスペース2を見る



ユーティリティ側よりスペース1を見る



土間



キッチン側よりスペース1を見る



スペース2よりスペース4を見る



スペース4



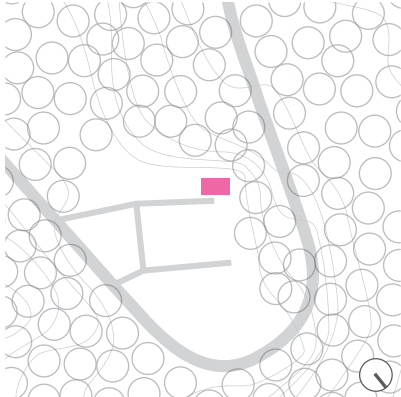
改修の痕跡

山上の家 roku/ 岩田敏孝+出口広訓+濱口芳郎

山の中腹に建つ築30年の住宅の改修である。施主は北海道の美しい四季の中で生活することを理想とし、この環境を選択した。周囲の外部環境のような開放的な空間を用意するために既存の内装を撤去、居住空間の境界面の断熱改修と共に内部空間の気積を最大限確保することとした。壁の断熱材は近年断熱改修が施されていたため既存のままとし、サッシを高断熱樹脂サッシに交換する際の壁の補修、内装撤去に伴う壁の補修をラワンベニヤで仕上げ、改修の痕跡を顕在化させた。各所に現れる改修の痕跡によって空間は統合され、またそれらによって分節された壁面は家具やモノをレイアウトする際の緩やかな手掛かりとなる。居住空間の境界面の性能を改修した上で、ラワンの箱、ツーバイ材の床組みや鉄骨の階段等を既存の外形、開口部及び1820mmピッチで反復する軽量鉄骨梁と平面、断面的な関係を調整し配置することで奥行き、天井高さ、視線の抜けなど様々な距離感や立体的な関係を持った余白の空間が生まれた。四面に開口を持った空間は風通しが良く明るく、冬は雪にバウンドした拡散光によって北国独特の明るさを持った外部環境の変化を繊細に感じることが出来る空間となった。北国の過酷な環境において開放的でありつつも身体的なスケールの集積としての親密な空間を得ることを目指した。



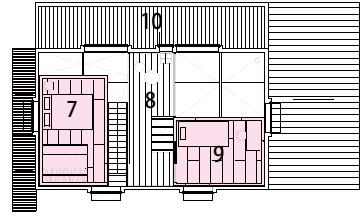
外観写真



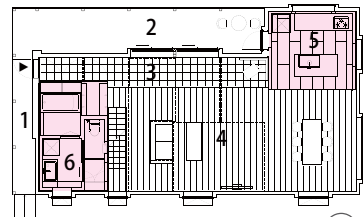
配置図 S=1/5000

概要
所在地 札幌市中央区
主用途 住宅
用途地域 なし
構造 軽量鉄骨造

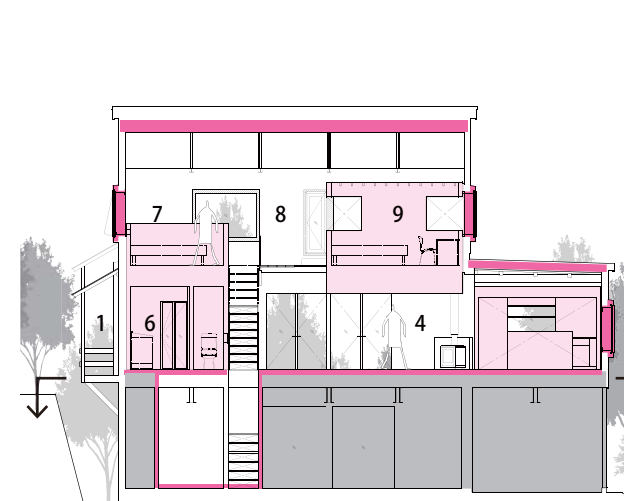
階数 地上3階
建築面積 76.19㎡
延床面積 109.47㎡



3階平面図 S=1/300

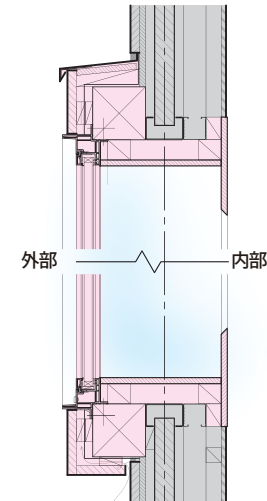


2階平面図 S=1/300



断面図 S=1/200 (■:断熱改修範囲)

1. アプローチ
2. テラス1
3. 土間
4. スペース1
5. キッチン
6. ユーティリティ
7. スペース2
8. スペース3
9. スペース4
10. テラス2



窓廻り詳細図 S=1/15 (■:改修範囲)